

引戸用自動施錠錠 (FDTシリーズ) 取付説明書

安全のために



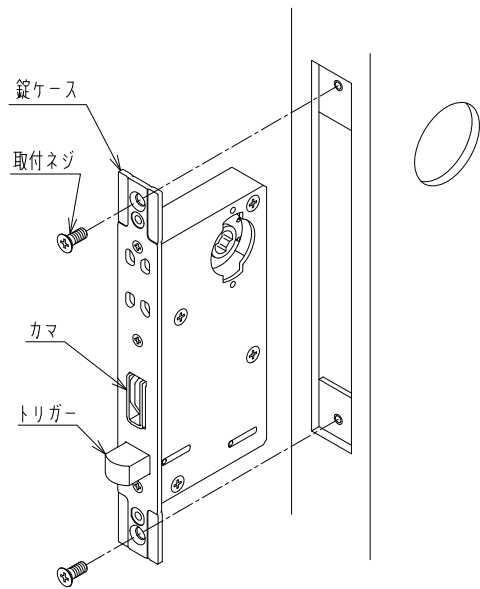
- ・本紙に従って正確に取付けをおこなって下さい。誤った取付けをした場合、故障の原因となります。
- ・電動ドライバーは使用しないでください。ネジの締めすぎによる破損の原因となります。(締付トルクの目安 0.7~1.5Nm)
- ・製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- ・全ての製品を取付け後、正常に作動しているか必ず確認して下さい。

1 扉、枠の切欠き

切欠き図に従って、扉、枠に切欠きをして下さい。

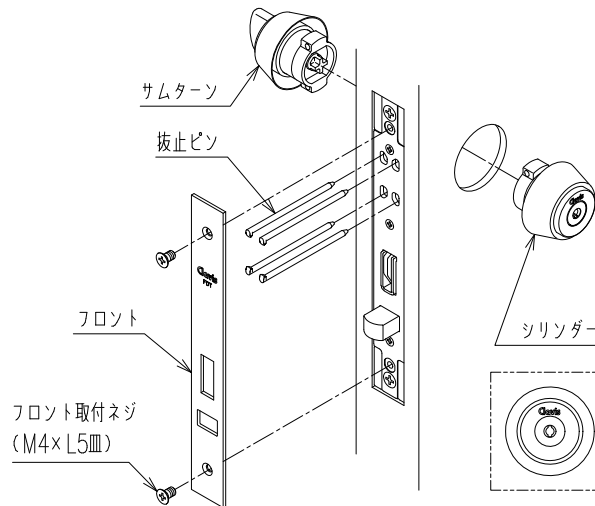
2 錠ケースの取付け

フロントを外し、錠ケースを取付ネジで扉に取付けて下さい。



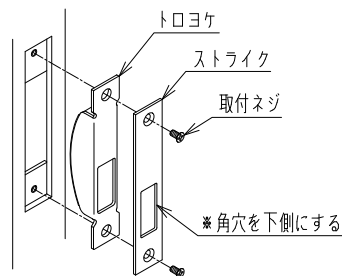
4 フロントの取付け

フロントをフロント取付ネジで取付けて下さい。



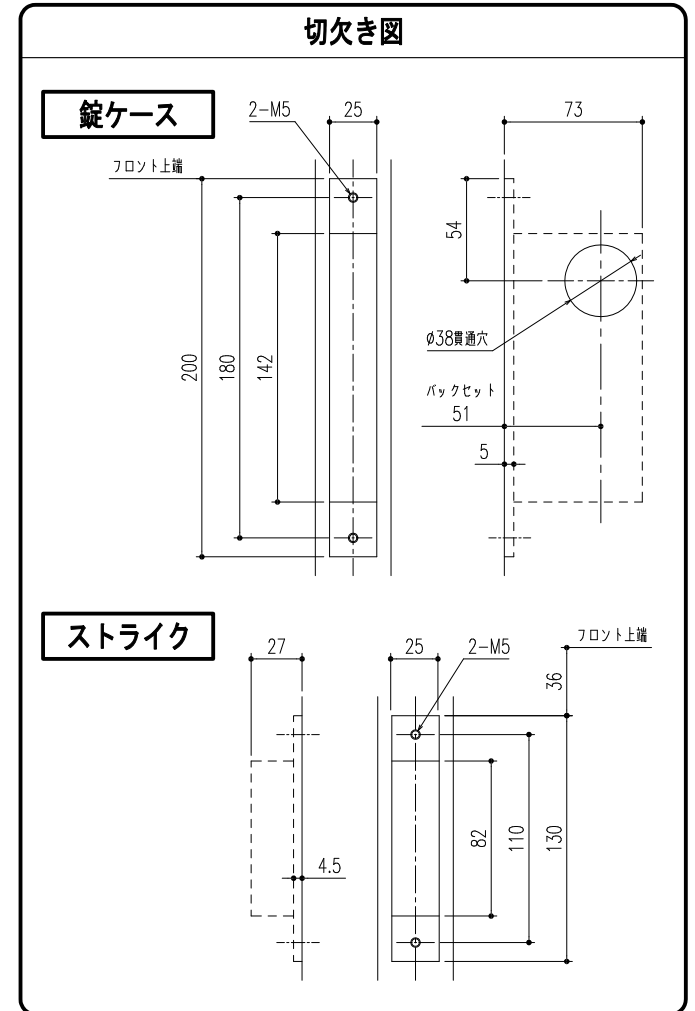
3 シリンダー、サムターンの取付け

「Clavis」刻印が上になるようにシリンダー、サムターンを錠ケースに差し込み、それぞれを抜止ピンで固定して下さい。(サムターンは解錠状態でつまみが縦になるよう取付けて下さい。また、シリンダーはキーを抜いた状態で取付けて下さい。)



5 ストライクの取付け

ストライクとトロヨケを取付ネジで取付けて下さい。



- ※トリガー押込力: 15N以上 (自動施錠時)
- ※有効戸先チリ寸法: 4mm以下 (フロントとストライクの隙間)
- ※扉ズレ許容範囲: 上下±3mm、見込±3mm